

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 3 年 5 月 29 日

回収率 100%

事業所名 ちびっこタイム品川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・今の年齢では十分だと思う。2名 ・スペースが広くて満足している。2名 ・運動サーキットが十分にできるスペースがある。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	4%		4%	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスいただいで助かっている。 ・十分な配置があるように思う。2名 ・利用開始まもないのでよくわからない。 ・大変手厚いサポートをして頂き(2名)、 専門的知識を持ってわかりやすく対応してくれる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	85%	4%		11%	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについてはわからないが、本人にとってわかりやすい構造化された環境だと思う。 ・スペースが広く、分かりやすい配置だと思う。 ・活動と食事のスペースが1階と2階に分かれていて、切り替えがしやすいのではないかと感じる。3名 ・ホワイトボードを使って「今日のスケジュール」を説明してから活動に入るので、わかりやすい。 ・詳しく見る事ができていないのでわからない。 ・利用開始まもないのでよくわからない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	92%	4%		4%	<ul style="list-style-type: none"> ・2Fがフローリングになり、よりよくなったと感じる。2名 ・活動に合わせた空間になっている。 ・きれいに掃除されていて、清潔で心地よい環境だと思う。 ・清掃、消毒がされ、清潔にされている。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズや課題を分析して対応してくれている。 ・保護者の希望をもとに計画を立てているように感じる。 ・保護者のニーズを踏まえた上で、子どもの様子をよく見て毎回丁寧に作成してくれている。3名
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに必要な具体的な内容が設定されている。 ・目標に向かうためのプロセスをわかりやすく提案してくれる。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	96%			4%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援が行われていると感じる。 ・小集団の中でも1人1人に合わせて丁寧に指導いただいでおり心より感謝している。 ・毎回の記録にて様々な支援を受けていることがわかる。
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しみながら活動できるよう工夫されている。2名 ・週や日替わりでプログラムを企画してくれている。 ・季節に合った多様なプログラムを取り入れている。4名 ・季節や子どもの特性に合わせて工夫されており、本人も楽しみにしている。 ・夏の水遊びや友だちとの外へのお出かけなど家庭ではできないこともしていただき嬉しかった。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	15%		35%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で実施されていないが、仕方がない。6名 ・コロナ禍でなかなか難しい中、今年度は物品のやり取りを通して交流できた。 ・利用開始まもないのでよくわからない。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%			4%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に詳しく説明してくれた。2名 ・覚えていない。 ・変更の際は、お手紙をいただいている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って内容を説明してくれた。 ・面談にて丁寧な説明を受けている。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	57%	27%	8%	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発令中、通所できない時も、電話にて支援していただき、とても助かった。また、電話でのやりとりで心の余裕もできた。2名 ・個人面談で日々の様子などを教えて頂き、助かっている。 ・ペアレント・トレーニング、今後機会があったら受けたい。 ・子どもへの接し方等アドバイスを適宜してくれ助かる。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> ・写真や連絡帳などで様子を報告してくれるため安心。 ・関わり方のアドバイスや相談にも答えてくれて勉強になる。 ・連絡帳を通して、細かく様子を伝えてくれ、子どもの問題に気付かされることも多い。親からもできる限り普段の様子を伝えている。3名 ・日頃の様子や保護者の困りごと等、相談しやすい。 ・送迎時のやり取りや連絡帳で共有できている。また担当の先生の一生懸命に取り組んでいる様子が伝わってくる。 ・プロフェッショナルだと感じている。例えば、お迎えの際、たった10分程度の立ち話でも得るものが多い。 ・日々は毎回の記録で、長期的には面談で話している。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回しっかり時間をかけて、指導員・心理士・管理者それぞれの立場からアドバイスを頂き大変勉強になる。2名 ・面談が少なかった分、登降園で話ができている。 ・定期的に面談がある。(コロナの影響で減っているが)また連絡帳で支援が行われている。3名 ・コロナの影響で難しいが、今後、参観等してみたい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	46%	23%	23%	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で中止になった。6名 ・今年度はコロナ禍でなかなかお目にかかれませんでした。日頃から連携できる関係性を作らせて頂いている。 ・コロナ禍なので難しいが、連携・交流はいつかしたい。4名 ・コロナの影響で楽しみにしていたバーベキューやクリスマス会がなくなってとても残念。2名 ・コロナの感染防止が優先だから仕方ない。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%	4%		4%	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまでよく見てもらえるので、相談支援をやって必要な療育をアテンドしてもらいたい。 ・相談窓口や体制について説明を受けている。 ・日頃の連絡帳はもちろん、電話やメールで気軽に相談できる雰囲気を作ってくれている。また、相談に対しても丁寧に迅速に対応してくれて助かっている。4名 ・利用開始まもないのでよくわからない。
保護者への説明等	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%			<ul style="list-style-type: none"> ・メールができるので助かっている。 ・連絡帳や口頭でやり取りをしている。2名 ・日頃の連絡帳はもちろん、電話やメールで気軽に相談できる雰囲気を作ってくれている。また、相談に対しても丁寧に迅速に対応してくれて助かっている。 ・活動の様子について知るのには、連絡帳だけでは限界があると感じる。例えば映像でも見られるような工夫があれば、なお良い。心理指導は個別なのでやりやすいのでは。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	96%			4%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会報や行事予定が配布され、楽しみにしながら目を通して通している。 ・カリキュラムや実際の写真など発行してくれて有難い。 ・次月のスケジュールは必ず紙面を発行し、その活動の様子を写真に収めフィードバックしてくれている。2名 ・利用開始まもないのでよくわからない。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題ないと思う。 ・きちんとされている。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの策定とその説明、及び訓練が行われている。 ・利用開始時に説明を受けた。 ・紙面にて連絡を受けており親として安心。本人たちも訓練の機会があり、良い学びとなっている。2名
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	88%	8%		4%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練も定期的にプログラムに取り入れられている。2名 ・訓練実施の連絡を受けており親として安心。本人たちも訓練の機会があり、良い学びとなっている。 ・利用開始まもないのでよくわからない。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れるまで時間がかかったが、今は喜んで通っている。 ・「ちびっこに行く！」と言うほど、楽しみにしている。2名 ・楽しみにしている。6名 ・とても楽しみにしている。3名 ・先生やお友達が大好きです。 ・最近では、やった内容を少ない言葉や行動で帰宅後に自慢してくれるようになり嬉しい限りです。 ・帰ってきた時、とても良い表情をしている。 ・積極的に行ききたがり、親としても嬉しい。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへのサポート、本人のやる気を引き出す工夫をしてくれて満足。 ・家庭ではなかなか素直にならないので、スプーンの持ち方から排泄まで覚えてきてくれて助かった。 ・とても満足している。3名 ・繰り返し丁寧に指導いただいている。 ・子どもにも保護者にとっても必要な場所になっており、支援にとっても満足している。 ・子どもに対してどう伝えたら理解してくれるか。伝わらないもどかしさ、また本人の不安などもあったと思うが、通所してから言葉が増え気持ちの切り替えが上手になってきた。根気強く丁寧に教えて頂きとても感謝している。 ・先生の顔と名前が一致しない。連絡帳も記名してほしい。 ・親の体調や仕事のことも気遣ってもらっている。 ・コロナ禍でも家庭状況を考慮し対応してくれた。 ・根気強く接してくれる有難かった。親だと怒ってしまうような場面でも子どもの気持ちに寄り添ってくれたことで安心できたようだ。 ・就学時にサービスが終了する療育が多い中、継続利用ができて一貫性のある療育を提供してくれて安心感がある。 ・内容は充実していて満足なので、今後リモートも取り入れてほしい。 ・日頃から大変頼りにしている。特に緊急事態宣言下、外出自粛により子どもに出た変化にも気付いてくれた時は心強かった。なくてはならない存在です。 ・以前通っていた療育と異なり、生活全般のことを長時間にわたり見てくれたことで本人のできることが増えた。 ・先生方が愛情を持って子どもと向き合ってくれる様子がよくわかり安心している。 ・4年間お世話になりました。特に生活面のことを身につけさせていただきました。着替え・トイレ・食事と全くできないところから、一人でできるところまで成長することができました。先生方の丁寧なご指導によるものと思っています。さみしい気持ちもありますが、感謝の気持ちを胸に小学校もがんばりたいと思います。

- この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

多機能事業所における評価の集計結果(公表)

公表: 令和 3 年 5 月 29 日

事業所名 ちびっこタイム品川

		チェック項目	はい	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		・低学年児にはちょうど良い。高学年児は体も大きいため活動内容をサーキットにしたり机上プログラムを取り入れている。
	2	職員の配置数は適切である	60%	40%	・放デイの人員配置が少ないと感じる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%		・部分的に文字カードを使用し、視覚化を取り入れている。 ・階段が高め(幼児には)ではある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	100%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		・進めようとしている段階。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		・コロナの影響で、外部研修に行ける機会が減ってしまっている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		・日々の反省でも、モニタリングの内容が含まれている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		・必要に応じて。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	80%	20%	・必要に応じて。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・必要に応じて。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	・管理者と機関が連携をとっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	80%	20%	・コロナウイルスによる感染予防のため実施できていない。2名 ・交流していたが、コロナで中止している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80%	20%	・コロナウイルスによる感染予防のため実施できていない。2名
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	80%	20%	・コロナの影響で実施が難しくなっている。 ・コロナの影響で、勉強会が先送りされている。 ・ペアレント・トレーニングではないが、連絡帳を通して家族の支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		・コロナの影響で、電話や引き渡し時に実施。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・面談で行っていたが、コロナの影響でできなかった時期も。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		・コロナの影響で延期になっている。 ・コロナで中止している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	60%	・コロナウィルスによる感染予防のため実施できていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	40%	・家庭から情報共有を受けている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		・職員会議・日々の反省で確認している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	80%	20%	・必要な場合は記載している。 ・必要な児童が、現在はいない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。